

主 な 内 容	
■ 事務事業評価を公表します	2
■ ふるさとまつりでの交通規制に協力をお願いします	3
■ 簡単運動教室	4
■ 子ども医療費助成制度の対象を拡大します	5
■ 総合型地域スポーツクラブ3クラブ 合同テニス交流大会	6

（仮称）市民参加・協働の まちづくりプランへのご意見を

パブリックコメント（意見公募）

市民参加・協働によるまちづくりを推進するため、市民と職員が一緒になって検討を行った「（仮称）市民参加・協働のまちづくりプラン」の素案がまとまりましたので、素案に対する皆さんの意見を募集します。

める「（仮称）市民参加・協働のまちづくりプラン」を策定し、段階的に市民参加・協働を推進していきます。

プランの概要

プランでは市の市民参加・協働の現状を踏まえ「市民参加」「市民自治」「市民協働」のそれぞれについて目指す姿を定め、市民と市が意見交換や対話を重ねることで、市民と市のお互いが響き合う市民参加・協働のまちづくりを目指します。

プランで目指す3つの姿

● 市民、市民活動団体、事業者などの多様な市民が市の計画策定、事業の実施、評価に参加し、市とともにまちをつくりあげていく多様な市民とものつくる「市民参加」

● 自治会や地区社会福祉協議会、自主防災組織、市民活動団体、事業者など地域の団体が一体となり、地域で連携・協力することで、地域の課題を解決するみんなで地域をつくる「市民自治」

● 市民、市民活動団体、事業者が、情報と目的を共有し、それぞれの役割と責任を自覚し、



ごみゼロで地域の皆さんが協働でまちづくりに参加（富士地先にて）

市民参加・協働を推進

市のまちづくりは行政だけでなく自治会、NPO、ボランティア団体、地区社会福祉協議会などの市民活動団体や事業者など、さまざまな公共サービスの担い手によって支えられています。これらの担い手の皆さんが、それぞれの特色を生かしなが

市民参加・協働を推進するための新たな事業体系

3つの目指す姿	方 針	事 業
「市民参加」 多様な市民と ものつくる	情報の活用と提供の充実	(1) ICT（情報通信技術）を活用した情報提供の充実 (2) 市の情報発信場所の拡充 (3) 市の内部会議の検討結果の情報提供 (4) 市民のニーズ把握と分析の充実
	市民参加・協働の機会の拡充と環境の整備	(1) 審議会などの会議への市民公募委員の確保 (2) 参加しやすい市民参加の手法の採用
	市の行政活動を知る・学ぶ	(1) なるほど行政講座の充実 (2) テーマ別市民推進員の養成 (3) 事業説明・発表会の開催
	コミュニティ意識の向上	(1) 地域の魅力発見と地域を知る機会の強化 (2) 子ども世代の地域との関わり強化 (3) 市のPRの推進 (4) 美しい景観形成の推進
「市民自治」 みんな 地域をつくる	地域活動に参加しやすい環境づくり	(1) 団塊シニア世代の活動支援のしくみづくり (2) 自治会・公益的市民活動団体の支援と加入促進 (3) 市民活動推進センターの運営・機能強化 (4) 市民活動団体認証制度の研究 (5) 市民活動保険制度の創設
	地域のリーダーになる市民を養成	(1) 地域コミュニティリーダーの養成 (2) 市民活動コーディネーターの養成
	地域の課題解決のための地域のしくみと環境づくり	(1) 小学校区を基礎としたまちづくり組織の設立 (2) 地域コミュニティ活動支援のための財源確保策の検討 (3) 企業の社会貢献活動支援策の検討 (4) 空き店舗などの民間施設の有効活用
	協働のしくみづくり	(1) 協働のルールづくり (2) 市民との協働の外部評価の実施 (3) 協働推進体制の構築と市民協働に対応した庁内組織の改編
「市民協働」 共有と 信頼で築く	協働のモデルづくり	(1) 協働モデル事業の実施と発信 (2) 協働事業提案制度の拡充 (3) 民間活用による協働事業の検討
	職員の意識改革・能力形成と職場環境づくり	(1) コーディネート型職員の育成 (2) NPO・ボランティア活動の理解と参加の推進 (3) 地域コミュニティ活動実績の把握と活用

共有と信頼で築く「市民協働」

プランの特徴

プランの特徴は5つあり、1つ目は市が現在実施している後期基本計画第1次実施計画の全ての事業における市民参加・協働の現状を調査・分析していま

意見募集します

意見募集します

市民参加で策定

計画の策定に当たっては、平成23年7月から市民と職員がワークショップにより現状および課題を議論し、さらに市民・市民活動団体・事業者支援団体・学識経験者からなる「（仮称）市民参加・協働のまちづくりプラン策定会議」と、市民参加・協働と関連が深い各課の職員で構成される「（仮称）市民参加・協働のまちづくりプラン庁内策定部会」が一緒になって推進のための施策や制度について審議・検討しています。

事務事業評価を公表します 総合計画の進行管理

お知らせコーナー

市では第4次総合計画の将来像「市民と楽しく安心して健康なましろい」を実現するため、実施計画に基づき具体的な事務事業を実施しています。

計画の進行管理と活用

総合計画とは、市が総合的・計画的に行政運営を進めていく上で長期的な基本指針となる市の最も上位に位置付けられる計画で「基本構想」「基本計画」

「実施計画」の3つから成っています。事務事業評価は、このうち実施計画に掲げる事業をすべて評価しています。

事務事業はそれぞれの評価シートで事業の目的や対象、手段（数値）などを明確にし、評価指標を行い、その結果を基に事務事業の改善や見直しを進めながら、総合計画の進行管理を行っている。

本年度は、平成23年度に行った234事業についての実施後の評価（事後評価）を行い、その結果は「良好」が137事業（59%）、「概ね良好」が84事業（36%）、「やや不良」が9事業（4%）、「不良」が3事業（1%）でした。

評価方法は担当課による自己評価（1次評価）に加え、市内

ます。事務事業評価は予算編成に活用するとともに、職員自身が評価することであらためて職員が事業を見つめ直すなど、職員の意識改革にもつなげています。

本年度は、平成23年度に行った234事業についての実施後の評価（事後評価）を行い、その結果は「良好」が137事業（59%）、「概ね良好」が84事業（36%）、「やや不良」が9事業（4%）、「不良」が3事業（1%）でした。

評価方法は担当課による自己評価（1次評価）に加え、市内

で組織する評価委員会による評価（2次評価）を行っています。平成23年度から実施している「事業仕分け」に基づく事業の改善内容などについても、評価シートに反映していきます。

◆評価結果の公表
各事務事業の評価シートや評価結果の一覧は、市役所情報公開コーナーや市ホームページなどで閲覧できます。

各事業の評価シートの平成25年度予算に係る項目などは、2月中旬以降に公表します。

平成23年度事業の主な評価・進捗状況

事業名 (担当部署名)	平成23年度の計画・目標	実績	評価結果と判断理由	今後の方向性、改革・改善計画など
児童保育事業 (児童家庭課児童家庭班)	①白井第三第二児童保育所の新設、南山児童保育所の改築、白井第一児童保育所の増築 ②児童利用延べ人数 5,208人	①児童保育所の新設、改築などの実施 ②児童利用延べ人数 5,280人	【良好】 計画どおり新設、改築、増築工事が実施でき、就労などにより昼間保護者がいない児童の健全育成の推進が図られた	【現状のまま継続】 児童の増加に伴う平成24年度の七次学童保育所移転などの実施
地域防災計画推進事業 (市民安全課消防防災班)	①防災計画の見直しのための防災アセスメント（災害の危険性の調査）実施 ②自主防災組織の育成創設	①防災アセスメントの約40箇所を実施 ②新規2団体を創設	【概ね良好】 自主防災組織は新設が2団体あったが、地域防災計画見直しは見直しの基礎資料となる防災アセスメント調査が当初の作業工程より遅れているため	【拡充・重点化】 避難所となる全小学校への非常用井戸の設置
感染症予防事業 (健康課母子保健班)	予防接種実施率 ①乳幼児95% ②高齢者50%	予防接種実施率 ①乳幼児113.4% ②高齢者53.8%	【良好】 対象者ごとに個別通知を行うことで接種を促し、接種者が目標を上回ったため	【現状のまま継続】 対象者への個別通知による予防接種実施の促進および感染症に関する知識の普及・啓発・指導・相談の実施
遊休農地解消事業 (農政課農政班)	遊休農地の面積を昨年度（113%）以下へ	遊休農地面積 112%	【やや不良】 遊休農地面積は昨年度以下となったが、草刈機の貸し出しにより適切な管理が行われている農地がある半面、遊休農地の解消は図られていないため	【手段改善】 遊休農地対策の具体策の早急な検討
環境基本計画推進事業 (環境課環境保全班)	第2次環境基本計画の策定	第2次環境基本計画の策定	【概ね良好】 計画策定に係る策定委員会の開催回数が増加し、計画書の完成が翌年度となったが、おおむね予定どおりの内容を協議し策定ができたため	【現状のまま継続】 環境審議会や（仮称）市民環境会議の意見・指摘を踏まえての環境基本計画の推進
公共工事に関する第三者評価事業 (財政課行政改革推進室)	第三者評価制度の創設	なし	【不良】 平成23年度に制度創設の計画としていたが、案件が想定できないことから必要性が低く、特に取り組みがなかったため	【現状のまま継続】 施設の建設が想定された時点で制度を創設できると、継続した調査研究の実施

行政相談



気軽に訪問してください

市では、総務大臣から委嘱された行政相談委員が国や独立行政法人、特殊法人および自治体の法定受託事務（登記、戸籍、年金、雇用に関する手続きなど）についての相談を受け、必要に応じて対応を行っています。

相談日時 毎月第3木曜日（8月を除く）午後1時～4時
※毎月の相談日は、広報1日号の最終ページにある「広報カレンダー」で確認することができます。

場所 市役所2階相談室
行政相談委員 原田敏子、中村淑子
相談料 無料
総務課行政班 内線3312・3

住宅用太陽光発電システム設置費補助金申請受け付け再開

市では、住宅用太陽光発電システム設置費補助金の申請受け付けを、24日（木）の午前9時から再開します。

申請の受け付けは、予算額に達した時点で終了します。

受付場所 市役所4階会議室2
※・※ 直接環境課環境保全班 内線3276・7へ

秋のこみせロ運動

みんなであそびをきいにしましょう

市では「こみせロ運動」を次のとおり実施しますので、主要

県へ意見書を提出しました ～汚泥処理施設設置計画に係る 申し出の取り扱いについて～

白井第2工業団地内に汚泥処理施設を建設するとして、民間事業者から千葉県の指導要綱に基づく事前協議免除申出書（市への意見聴取や周辺住民への説明が免除されるもの）が県に提出されたことに伴い、市では計画内容を周辺住民に説明するなどの手続きをとる「事前協議対象施設」として取り扱うよう、2月29日に県に対して要望書を提出しました。

7月31日付で県からこの施設を「事前協議対象施設」として取り扱う旨の通知があったことから、市では計画に対して次の事項に関する内容の意見書を9月14日に県へ提出しました。

- 土地利用計画、環境保全に関する計画への適合をはかること
- 施設が立地する地域の環境保全について留意すること
- 市が所管する事務に係る手続きについて留意すること

※ 環境課指導対策班 内線3272

地元で就職応援ツ アーン印西

若者の就職支援施設「ジョブカフェちば」と白井市・印西市・鎌倉谷市が共催で、求人中の地元企業2社を見学するツアーを開催します。

会社見学をすることで会社の雰囲気や働き方に感じ、採用担当者や先輩社員から直接話を聞くことで、求める人材や仕事内容などについて詳しく知ることができます。

日時 11月13日（木）午前10時～午後4時30分
場所 印西市中央駅前地域交流館

対象 すでに就職が可能な15から39歳までの人 20人（申し込み順）

※学生の参加は、卒業学年の人に限ります。

※・※ 電話でジョブカフェちば ☎047（426）8471 市商工振興課商工振興班 内線3242へ

消費者講座「知らな いと損する老後資金 の準備」

今後訪れるかもしれない「超高齢社会」に向けて、第二の人生として豊かな老後生活を送る上で資金面を心配する人も多いのではないのでしょうか。

今回の講座では、生活設計や資産管理などについて詳しい専門家を招き、貯蓄や投資の基本、預金の注意点、老後に必要な資金の種類と金額、金融商品の注意点を、老後の資金についてのポイントを解説します。

日時 11月20日（木）午前10時～正午

場所 文化会館ホール

対象 一般 40人（申し込み順）

講師 千葉県金融広報委員会金融広報アドバイザー 桶田勝さん

※・※ 11月19日（水）までに電話か直接商工振興課 内線3241へ

国が行う「救急救命士による処置範囲拡大のための実証研究」に参加します

印西地区消防組合では厚生労働省や総務省消防庁からの助言などを得て、11月1日から3月31日まで「救急救命士の処置範囲に係る実証研究」のモデル事業に参加します。

これは限定した地域で救急救命士が行う救命処置の範囲を拡大させ、その効果と安全性を確認するものであり、白井市を含む印旛地域9市町が研究地域に選定されたものです。



血糖の測定を行う救急救命士（模擬）

研究を行う処置は次のとおりです。

- ①低血糖で意識障害のある傷病者に対する血糖測定とブドウ糖溶液の投与
- ②重症のぜんそく発作を起こした場合の傷病者が所持している吸入薬の使用
- ③血圧が低下して心臓が停止する危険性があるショック状態の傷病者に対する点滴

処置の対象となるのは救急搬送が必要な20歳以上の傷病者で、処置を行う際には本人か家族などによる書面での同意が必要になります。処置を断ったとしても通常の救急搬送は行いますので、不利益を被ることはありません。

☎ 印西地区消防組合警防課救急救助係 ☎0476 (46) 9964

軽度・中等度難聴児補聴器 購入費等助成制度

市では身体障害者手帳の交付対象としない軽度・中等度の難聴児に対し、言語の習得や社会性の発達を支援するため、補聴器などの購入費用を助成しています。



助成対象 次の要件をすべて満たす人が補聴器などを購入するための購入費用

- 市内に住所を有する18歳未満の人
 - 両耳の聴力が原則30デシベル以上70デシベル未満で、身体障害者手帳の交付対象とならない人
 - 補聴器の装用が必要と医師に診断された人
 - 市民税所得割額が46万円以上の人がない世帯に属する人
- ※補聴器などの購入時期によっては、要件をすべて満たしていても助成の対象とならない場合があります。

助成額 購入費用の3分の2

※助成額は決められた基準額があり、その範囲内で助成します。

■・☎ 所定の申込書（社会福祉課にあります）に必要な事項を記入の上、医師意見書などを添えて直接社会福祉課障害福祉班 ☎(497) 3483へ

※医師意見書などの添付書類にはいろいろな制約がありますので、申請をする際には事前に必ず問い合わせください。

お知らせコーナー

保健福祉センター

「高齢者虐待では？」と思ったら 地域包括支援センターへ

家庭や高齢者関係の施設などで、65歳以上の高齢者に対して次のような虐待が行われている疑いがあるときは、地域包括支援センターに相談・通報をしてください。通報者に関する秘密は守ります。匿名で通報することもできます。



家庭内における虐待では、介護の精神的・身体的なストレスが原因になることがよくあります。高齢者を介護していて辛いときや不安なときは、ひとりで抱えずに地域包括支援センターに相談してください。

【高齢者に対する虐待】

- 身体的虐待 つねる、殴る、蹴る、突き飛ばす、ベッドに縛り付けるなどの暴力をふるい、けがや痛みを与える
- 心理的虐待 どなる、悪口を言う、わざと無視する、嘲笑するなど、言葉や態度で精神的な苦痛を与える
- 経済的虐待 必要な金銭を渡さない、使わせない、年金を本人の利益に反して使うなど、本人の合意なしに財産を勝手に使う
- 性的虐待 排泄の失敗の罰として下半身を裸のまま放置するなど、本人が嫌がる性的な行為を強要する
- 介護の放棄 入浴や食事をさせない、必要な介護医療サービスを使わせないなど、必要な世話をしないために高齢者の心身を悪化させる

☎ 地域包括支援センター ☎(497) 3474

かんたん運動教室



3日間のコースで、自宅でできる簡単な運動を学ぶことができます。スポーツインストラクターと一緒にストレッチや下肢の筋力トレーニングを行うので、運動習慣のない人でも参加することができます。

日程・場所 11月6日・13日・20日（各火曜日）・保健福祉センター
3日間コースで、自宅でできる簡単な運動を学ぶことができます。スポーツインストラクターと一緒にストレッチや下肢の筋力トレーニングを行うので、運動習慣のない人でも参加することができます。

対象 市内在住の65歳以上 各25人（申し込み順）
持ち物 タオル、飲み物、運動靴（校舎センター・白井コミュニティセンターでの教室に参加を希望する人のみ）
■・☎ ファクスかEメールに住所、氏名、性別、年齢、電話番号、参加する場所を記入し、力の上、10月25日（木）までに高齢者福祉課高齢者支援班 ☎(497) 3484・☎(497) 3483・Resource@fukusi

ファミサポおしゃべり広場

子育てや趣味のことなどの情報を交換する広場なので、子どもと遊びに来てください。ティールームを楽しみながら、気軽に情報交換しましょう。

日時 10月29日、11月26日、1月28日、2月25日、3月18日（各月曜日） 午前10時～正午
場所 保健福祉センター
対象 市内在住者（自由参加）
参加費 無料
☎ しろいファミリー・サポート・センター ☎(497) 3419

高齢者在宅介護

ワンポイントアドバイス19 白井地域福祉事業所 しろいの木

介護を始めるいっしょになつたら

◆心がまえ

まずは頑張るすぎないで、そして自然な気持ちでできることから始めましょう。また、家族だけで問題を抱えないで、介護保険サービスや社会福祉協議会などに相談し、ちょっとしたことも「こんなことで」と思わないで聞いてみましょう。長く介護を続けるためには、家族の幸せや健康にも配慮することが大切です。

事業所紹介

「しろいの木」は今年6月に訪問介護、介護予防事業を開始しました。私たちは介護保険事業だけでなく、地域福祉事業所として地域の皆さんの生活全般を支えることを目指しています。これから訪問介護、生活支援、地域支援、ネットワークづくりを柱に、高齢化社会を支える活動を行っていきます。

◆接し方

接し方で大切なことは「心」に寄り添うことです。介護を受ける人には上からの視線で話をするのではなく、視線を合わせてゆつくり話をしましょう。楽しい会話で話題を共有して笑うことは、脳の活性化につながる。同時に脳の老化を防ぐ良い方法にもなります。そして長い時間話さず、短時間でもなるべく回数多く、こまめに家族が一方的に話すのではなく、介護を受ける人にもできる声を出してもらいましょう。

「高齢者在宅介護ワンポイントアドバイス」の連載は、今回が最終回です。在宅介護について不明な点があれば、高齢者福祉課介護保険班に問い合わせてください。

☎ 高齢者福祉課介護保険班 ☎(497) 3473

子ども医療費助成制度は、12月1日から中学生の入院も対象になります。

市では、登録申請書を対象家庭へ4月末に送付しました。登録の申請がまだ済んでいない人は、早めの申請をお願いします。

小学6年生以下の子がいる家庭で申請時に必要書類が整って



子ども医療費助成制度の対象を拡大します

いた人へは、市から受給券・認定通知書が対象外通知書を送付しています。届いていない場合は健康課へ問い合わせてください。

※中学生の子がいる家庭には、11月末に受給券が対象外通知書を送付します。

12月からは、小学4から6年生までの助成対象者へも受給券を送付します。

必要書類 白井市子ども医療費助成登録申請書（健康課、市ホームページにあります）、印鑑、銀行口座、保険証の写し（表面のみ）、平成24年1月2日以降に白井市に転入した人は平成24年度分の課税証明書

健康づくり講演会「結核」は現代の病気

千葉県では、現在でも毎年1,000人以上が新たに結核にかかっています。

高齢者が過去に結核菌に感染した古傷から加齢で免疫力が弱ったために発症したり、働き盛りの人が仕事などで多くの人の関わるために感染の機会が増加し、さらに忙しさのために病気の発見が遅れて回復に時間を要するといったリスクがあったりなど、全ての年代の皆さんに関心

健康づくり講演会「結核」は現代の病気

保健福祉センター

小児慢性特定疾患児日常生活用具の給付

市では、小児慢性特定疾患児が快適な日常生活が送れるよう、小児慢性特定疾患児日常生活用具を給付します。

給付を受けるに当たって、所得税額などによって自己負担金が発生する場合があります。

対象 県が実施する医療の給付を受けている小児慢性特定疾患児

※児童福祉法、障害者自立支援法などの規定による給付対象者は除きます。

申請に必要なもの

■・■ 小児慢性特定疾患児日常生活用具給付申請書（健康課にあります）に必要な事項を記入の上で小児慢性特定疾患医療受給券、対象者の同一世帯で収入のある人全員の当該年度分市民税の課税額を証明する書類、源泉徴収票、対象品目の見積書を添えて直接健康課母子保健班 ☎（497）3495へ

小児慢性特定疾患児日常生活用具

種目	対象者	性能など
便器	常時介助を要する人	小児慢性特定疾患児が容易に使用できるもの（手すりを付けることができるなど）
特殊マット	寝たきりの状態にある人	床ずれの防止、失禁などによる汚染または損耗を防止できる機能があるもの
特殊便器	上肢機能に障害のある人	足踏みペダルで温水温風を出すことができるもの（取り替えの際に住宅改修を伴うものを除く）
特殊寝台	寝たきりの状態にある人	腕、脚などの訓練のできる器具が付いた原則使用者の頭部、脚部の傾斜角度を個別に調整できる機能があるもの
歩行支援用具	下肢が不自由な人	おおむね次の①②のような性能がある手すり、スロープ、歩行器など ①小児慢性特定疾患児の身体機能の状態を十分踏まえたもので、必要な強度と安定性があるもの ②転倒防止、立ち上がり動作の補助、移乗動作の補助、段差解消などの用具となるもの
入浴補助用具	入浴に介助を要する人	入浴時の移動、座位の保持、浴槽への入水などを補助でき、小児慢性特定疾患児または介助者が容易に使用できるもの
特殊尿器	自力で排尿できない人	尿が自動的に吸引されるもので、小児慢性特定疾患児または介助者が容易に使用できるもの
体位変換器	寝たきりの状態にある人	介助者が小児慢性特定疾患児の体位を変換させるのに容易に使用できるもの
車いす	下肢が不自由な人	小児慢性特定疾患児の身体機能を十分踏まえたものであって、必要な強度と安定性があるもの
頭部保護帽	発作などにより頻繁に転倒する人	転倒の衝撃から頭部を保護できるもの
電気式たん吸引器	呼吸器機能に障害のある人	小児慢性特定疾患児または介助者が容易に使用できるもの
クールベスト	体温調節が著しく難しい人	疾病の症状に合わせて体温調節のできるもの
紫外線カットクリーム	紫外線に対する防御機能が著しく欠けて、がんや神経障害を起こすことがある人	紫外線をカットできるもの
ネブライザー（吸入器）	呼吸器機能に障害のある人	小児慢性特定疾患児または介助者が容易に使用できるもの
パルスオキシメーター	人工呼吸器の装着が必要な人	呼吸状態を継続的にモニタリングできる機能があり、介助者などが容易に使用できるもの

保健福祉センター

健康増進ルームを休館します

健康増進ルームを休館します

臨時職員（保育士）を募集します

健康増進ルームを休館します

健康増進ルームを休館します

もうすぐパパママクラス～平日コース～

出産や育児について学びながら友達づくりをしませんか。

日程・時間・内容 下表のとおり（全5回）

場所 保健福祉センター

※4課のみプラネタリウム館で行います。

対象 おおむね妊娠6から9カ月までの妊婦とその家族 30人（申し込み順）

※経産婦も参加できます。

保育 あり（要事前予約）

持ち物 母子手帳、パパの育児でハンドブック、筆記用具

※内容によっては、エプロンなどが別に必要になります。

参加費 400円（調理実習材料費）

■・■ 電話か直接健康課母子保健班 ☎（497）3495へ

もうすぐパパママクラス（平日コース）日程表

課名	日程	時間	内容
1課	11月5日(月)	13:30～16:00	妊娠中の生活・妊婦体操
2課	11月7日(水)	10:00～13:00	妊娠期からの食生活（調理実習）
3課	11月12日(月)	13:30～16:00	出産の経過や妊娠中の歯の保健についての話
4課	11月22日(水)	13:30～14:40	マタニティコンサートなど
5課	11月28日(水)	13:30～16:00	赤ちゃんの風呂の入れ方、先輩ママ&赤ちゃんとの交流
		14:30～15:40	赤ちゃん同窓会（5月に「もうすぐパパママクラス」に参加した人のみ）

※妊婦体験ジャケットの試着は随時行います。

臨時職員（保育士）を募集します



市では産前・産後休暇を取得する保育士の代替として、桜台・南山保育園で勤務する臨時職員を募集します。

募集人員 各国1人

募集要件 保育士証を有する人

勤務期間 桜台保育園 11月1日～2月28日 南山保育園 12月1日～3月31日

※勤務期間は変更する場合があります。

勤務日時 平日 午前8時30分～午後5時15分

時給 1,020円（別途通勤手当あり）

■ 所定の申込書（総務課または市ホームページにあります）に必要な事項を記入の上で履歴書、保育士資格証の写しを添えて郵送か直接総務課人事班 内線3314・5へ

■ 桜台保育園 ☎（492）6101、南山保育園 ☎（491）1413

教育長を再任しました



辞令を受ける米山教育長

第3回議会定例会で議会の同意を得て米山一幸さんが教育委員に再任され、10月1日の教育委員会議会で教育長に任命されました。

米山教育長は平成17年6月20日に就任し現在3期目で、今回の任期は平成24年10月1日から平成28年9月30日までです。

■ 教育総務課総務班 内線3412

初心者のためのパソコン自習室

パソコンやインターネット、Eメールなどの操作に関する疑問や、パソコン講座を受講する前に事前学習をしておきたい人などの相談に、市民ボランティア講師が応じます。

日時 11月4日(月)・18日(月)・25日(月) 午前9時30分～11時30分
※混雑時、パソコンを使用できる時間は1人1時間です。

場所 西白井複合センター

対象 市内在住・在勤・在学の高校生以上 8人(先着順)

■ 生涯学習課社会教育班 内線3431・3

日本年金機構研修センター運動施設開放日

当分の間テニスコートとグラウンドのみの開放となります。

日時 11月3日(祝)、4日(月)、10日(日)、11日(月)、17日(日)、18日(月)、24日(日)、25日(月)

対象 市内在住・在勤・在学者

子育て

0歳児サークル

ハンドマッサージで育児の疲れを癒しましょう。

日時 11月5日(月) 午前10時30分～午前11時30分

対象 平成23年4月2日から平成24年4月1日までに生まれた子とその保護者 10組(申し込み順)

持ち物 大判バスタオル

■ 11月2日(金)までに電話か直接公民センターへ

「おいほり(おひろい)」で遊びましょう。

日時 11月6日(火) 午前10時30分～11時30分

■ 11月10日(土)までに電話か直接白井駅前センターへ

親子で楽しく遊びましょう

「おいほり(おひろい)」で遊びましょう。

日時 11月6日(火) 午前10時30分～11時30分

■ 11月10日(土)までに電話か直接白井駅前センターへ

対象 乳幼児とその保護者 20組(申し込み順)

■ 11月2日(金)までに電話か直接公民センターへ

「ねんねさん&フレママちゃん」

親子で「足もみ健康法」を学んだ後、茶話会で子育ての情報交換をしましょう。

日時 11月14日(水) 午前10時30分～正午

対象 6カ月未満の子とその保護者 16組、妊娠6から8カ月までの人 4人(いずれも申し込み順)

持ち物 バスタオルかマット

講師 国際リフレクソロジー 湯浅厚代さん

参加費 2,000円(材料費)

■ 11月10日(土)までに電話か直接白井駅前センターへ

総合型地域スポーツクラブ3クラブ合同テニス交流大会

スポーツクラブ会員によるテニス交流大会を開催します。クラブの会員だけでなく、テニスに興味のある人も参加でき、初心者向けのテニス教室も開催します。また、会場では各クラブ(桜台スポーツクラブ・スポーツコミュニティなみ・ONスポーツクラブ)の新規入会も受け付けますので、興味のある人は参加してください。

日時 20日(土)(雨天の場合は27日(土)に延期) 午前9時～午後4時
※初心者向けのテニス教室は午前10時から11時30分までです。

場所 白井運動公園

対象 市内在住・在勤・在学者(自由参加)

参加費 無料

■ 生涯学習課スポーツ振興班 内線3434

(申し込み順)

※未成年者利用には、必ず成人が同伴してください。

利用料金 テニスコート580円

■ クラウド2、900円

(各2時間単位)

■ 申請書(生涯学習課に)

あります)に必要事項を記入の上、10月25日(木)までに直接生涯学習課スポーツ振興班 内線3435へ

※初めて申請する場合は、生涯学習課スポーツ振興班で利用登録をしてください。

■ 申請書(生涯学習課に)

あります)に必要事項を記入の上、10月25日(木)までに直接生涯学習課スポーツ振興班 内線3435へ

※初めて申請する場合は、生涯学習課スポーツ振興班で利用登録をしてください。

■ 申請書(生涯学習課に)

教育委員会コーナー

センターだより

インフォメーション

「白井自修館」がスタートします

市内在住・在学の中学1年生から18歳までの青少年を対象に、11月から白井児童館の開館時間を延長し、2階の部屋を開放します。友達同士の居場所づくりや自主学習の場に活用できます。

※利用を希望する場合は、保護者の同意を得て、利用登録申請書(白井児童館にあります)を提出してください。

開館日時 毎月第1～4金曜日 午後5時～7時

※祝日は休館します。

対象 市内在住・在学の中学1年生から18歳までの人

■ 白井児童館 ☎ (491) 0166

子ども

おはなし会

「おはなしカレンダー」による絵本や紙芝居などの読み聞かせを行います。

日時 12月1日、1月5日、2月2日、3月2日(各土曜日)

午前11時～11時30分

対象 幼児・小学生(自由参加)

※未就学児の参加には保護者が同伴してください。

■ 生涯学習課スポーツ振興班 内線3434

興味・教養・学習

ヨファーストステップヒップホップダンス



基本のステップやリズムの取り方を学ぶことができます。アパードキダンスを踊る小学生から大人までの初心者向けの講座です。

日時 28日(月) 午前10時～11時30分

■ 申請書(生涯学習課に)

あります)に必要事項を記入の上、10月25日(木)までに直接生涯学習課スポーツ振興班 内線3435へ

※初めて申請する場合は、生涯学習課スポーツ振興班で利用登録をしてください。

健康になれる料理教室～マクロビオティック～

デトックス効果や免疫力がアップする料理で、健康な体を保ちませんか。

日程・内容 下表のとおり

時間 午前10時～午後1時

対象 一般 16人(申し込み順)

持ち物 マスク、エプロン、三角巾、持ち帰り用のタッパ、筆記用具

講師 gyu de chu siyou主宰 村越央季子さん

参加費 3,000円(3回分)

■ 10月31日(木)までに電話か直接白井駅前センターへ

健康になれる料理教室(全3回)

日程	内容
11月6日(火)	「マクロビオティック」って何? 土鍋で玄米をおいしく炊いてみよう
11月13日(火)	「基本のお惣菜」を作ろう
11月20日(火)	「おもてなし料理」を作ろう



歴史のしずく 新しきを知る

白井橋は伊勢宇橋?

白井橋は、本下街道の白井地区と神々畑地区との境界に位置する神崎川に架かる橋です。実は白井橋は、江戸時代のある時期から大正時代頃までは「伊勢宇橋」と呼ばれていました。

大正2(1913)年に発行された「千葉県印旛郡誌」の神崎川の項には次のような記載があります。

・神崎川と二重川の合流点に橋があつて伊勢宇橋といふ。

・橋はその昔、江戸の伊勢屋宇兵衛といふ物が架橋した石橋であるが、本下街道を修復した際に今の木橋になった。

・同人は本下街道に10力所の石橋を架けた。

つまり、橋の名称は「架橋した伊勢屋宇兵衛にあなむ」という説明です。

このことを裏付ける小さな石碑が橋の近くに立っています。

調査や研究で天保年間と推定されています。架橋後、長い年月の経過や木橋への架け替えなども影響し「伊勢宇橋」という名称は徐々に忘れられいつしか「白井橋」と呼ばれるようになったようです。

それでも痛みのひどかった本下街道の橋を石橋に架け替えたことは、当時の白井の人々にはとてもありがたく、宇兵衛に感謝したことでしよう。

「伊勢宇橋」の碑は架橋の記念碑でもあり、橋が現存していないことを鑑みると、大変貴重な資料といえます。

■ 郷土資料館 ☎ (492) 1124

宇兵衛は安永7(1778)年に現在の茨城県稲敷市江戸

崎で生まれ、30歳で江戸浅草に出て「醤油酢問屋」を営み、徐々に財をなしました。

そして晩年、私財を投じて各地に約100力所の橋を架け、安政4(1857)年に80歳で没しました。

宇兵衛が架けた橋は、群馬県草津町から静岡県小山町にまで及びますが、残念ながら現存するのは故郷江戸崎の瑞祥院にある1基のみです。本下街道での架橋が多いのは、宇兵衛が江戸と江戸崎とを往復する際にこの道を通ったため、特に思い入れが強かったとの説もあります。

市の「伊勢宇橋」は宇兵衛が86番目に架けた橋で、架橋については石碑に年代が刻まれているませんが、これまでの調査や研究で天保年間と推定されています。

架橋後、長い年月の経過や木橋への架け替えなども影響し「伊勢宇橋」という名称は徐々に忘れられいつしか「白井橋」と呼ばれるようになったようです。

それでも痛みのひどかった本下街道の橋を石橋に架け替えたことは、当時の白井の人々にはとてもありがたく、宇兵衛に感謝したことでしよう。

「伊勢宇橋」の碑は架橋の記念碑でもあり、橋が現存していないことを鑑みると、大変貴重な資料といえます。

■ 郷土資料館 ☎ (492) 1124

宇兵衛は安永7(1778)年に現在の茨城県稲敷市江戸

崎で生まれ、30歳で江戸浅草に出て「醤油酢問屋」を営み、徐々に財をなしました。

そして晩年、私財を投じて各地に約100力所の橋を架け、安政4(1857)年に80歳で没しました。

宇兵衛が架けた橋は、群馬県草津町から静岡県小山町にまで及びますが、残念ながら現存するのは故郷江戸崎の瑞祥院にある1基のみです。本下街道での架橋が多いのは、宇兵衛が江戸と江戸崎とを往復する際にこの道を通ったため、特に思い入れが強かったとの説もあります。

市の「伊勢宇橋」は宇兵衛が86番目に架けた橋で、架橋については石碑に年代が刻まれているませんが、これまでの調査や研究で天保年間と推定されています。

架橋後、長い年月の経過や木橋への架け替えなども影響し「伊勢宇橋」という名称は徐々に忘れられいつしか「白井橋」と呼ばれるようになったようです。

それでも痛みのひどかった本下街道の橋を石橋に架け替えたことは、当時の白井の人々にはとてもありがたく、宇兵衛に感謝したことでしよう。

「伊勢宇橋」の碑は架橋の記念碑でもあり、橋が現存していないことを鑑みると、大変貴重な資料といえます。

■ 郷土資料館 ☎ (492) 1124

宇兵衛は安永7(1778)年に現在の茨城県稲敷市江戸

高 齢 者

◆ 会員募集説明会

長年培った知識や経験を生かしながら、健康や生きがいのために仕事をしてみませんか。

心身ともに健康で働く意欲のある人を対象とした説明会を開催します。

日時 25日(木) 午前10時

場所 保健福祉センター

対象 市内在住の原則60歳以上(自由参加)

◆ 初級パソコン講習会・ステップアップ講座

年賀はがきの作成やEメールの送信、インターネットの閲覧方法など楽しく学びましょう。

日時 11月14日(木)・16日(金)・20日(火)・21日(水)(全5日間) 午後1時45分～4時45分

場所 高齢者就労指導センター

対象 市内在住の原則60歳以上でローマ字入力ができ、全日程参加出来る人 12人

※応募者多数の場合は、初めて受講する人を優先し抽選します。

参加費 1,000円(テキスト)

タイトルの上にある①などは次の場所や申し込み・問い合わせ先を示しています。

①西白井複合センター(月曜日休館)
〒270-1435、清水口1-2-1 ☎(492) 1011

②白井駅前センター(月曜日休館)
〒270-1424、堀込1-2-2 ☎(497) 1151

③富士センター(月曜日休館)
〒270-1432、富士239-2 ☎(446) 1911

④公民センター(日曜日休館)
〒270-1406、中98-17 ☎(492) 5266

⑤桜台センター(月曜日休館)
〒270-1412、桜台2-14 ☎(491) 7111

⑥福祉センター・青少年女性センター(日曜日休館)
〒270-1415、清戸766-1 ☎(492) 2022

⑦シルバー人材センター(土・日曜日休館)
〒270-1415、清戸765-2 ☎(498) 1717

⑧社会福祉協議会(土・日曜日休所)
〒270-1492、保健福祉センター内 ☎(492) 5713

⑨ボランティアセンター(土・日曜日休所)
〒270-1492、保健福祉センター内 ☎(492) 5716

⑩市民活動推進センター(月曜日休館)
〒270-1424、堀込1-2-2 ☎(498) 0705

⑪白井コミュニティセンター(火曜日休館)
〒270-1422、復1458-1 ☎(491) 1505

⑫白井児童館(火曜日休館)
〒270-1422、復1458-1 ☎(491) 0166

※祝日・年末年始はすべて休館(所)です。

定期的に実施されている児童館事業などは掲載していないものもありますので、児童館だより(各センターにあります)や市ホームページで確認してください。

ト代 別相談会を行います。

⑬ 10月31日(木)に電話か直

接シるバリエーションセンターへ

⑭ はじめての遺産相続と遺言書の作成セミナー

遺産相続や遺言書について「いろいろと難しい」「良く分からない」「なや」と思っている人、身内が対象で、希望者のみに行います。

対象 市内在住のおおむね60歳以上 20人(申し込み順)

持ち物 筆記用具

参加費 無料

⑮ 11月22日(木)までに電話か直接福祉センターへ

要約を解説するセミナーと個別相談会を行います。

日時 28日(日) 午後1時～4時30分

場所 白井駅前センターおよびその周辺(雨天決行)

対象 市内在住・在勤者 15人(申し込み順、但し初めて受講する人を優先)

講師 元日本大学専任講師 山本恵一

持ち物 デジタルカメラ(取扱説明書含む)

⑯ 23日(火)までに電話か直接市民活動推進センターへ

市 市民による市民のための市民講座～失敗しないためのデジタルカメラの操作方法～

デジタルカメラの基礎知識、操作方法、撮り方などを初歩から丁寧に解説する講座を開催します。

日時 28日(日) 午後1時～4時30分
場所 白井駅前センターおよびその周辺(雨天決行)
対象 市内在住・在勤者 15人(申し込み順、但し初めて受講する人を優先)
講師 元日本大学専任講師 山本恵一
持ち物 デジタルカメラ(取扱説明書含む)
⑯ 23日(火)までに電話か直接市民活動推進センターへ

イ ベ ント

◆ 印刷環境・体験フェア
屋形船やボートなどでの水辺体験やNPO活動の展示など、印刷やその流域の水環境再生について行政や市民が一緒に考えるためのフェアを開催します。

日時 25日(木) 午後0時30分～午後4時

場所 千葉市文化センター

◆ 認知症と家族の会千葉県支部 043(204)8228

⑰ 月・火・木曜日の午後1時から4時(定)

◆ DVD「昭和と戦争 語り継ぐ7000日」視聴&懇談会

「昭和と戦争 第2回赤紙が届く日」を視聴しながら、懇談しましょう。

日時 27日(土) 午後3時～5時

場所 西白井複合センター

⑱ 白井平和委員会 池川 ☎(491) 0503

◆ 労災職業病なんでも相談会

弁護士、労働安全衛生管理者などが無料で相談に応じます。

日時 27日(土) 午後1時～4時

場所 船橋市勤労市民センター

⑲ 千葉中央法律事務所 ☎043(225) 4567

◆ 千葉大学園芸学部公開講座

「食品の安全と安心を考える」

「食品の安全と安心と情報」「食の安全と安心を確保する」「食品の安全と安心のガバナンスの実践」「食の安全と安心と風評被害と消費者の責任」をテーマに千葉大学大学院園芸学部研究科の教授、助教が無料講演を行います。

日時 27日(土) 午後1時～4時

場所 千葉大学園芸学部棟(松台市) 対象 一般 100人(申し込み順)

◆ 世界アルツハイマーデー記念講演会

現代を「高齢社会や認知症を自分の問題として理解し考える時代」と捉え、認知症の人と家族の会本部の片山禎夫理事による「ひとことでは足りない認知症をテーマにした講演会を開催します。

日時 25日(木) 午後0時30分～午後4時

場所 千葉市文化センター

◆ ラクティナクラブ育児支援無料講座「お産について」母乳育児のスタート

講座終了後に出席者母乳育児の不安や疑問点について助産師に質問することが出来ます。

日時 28日(日) 午前10時30分～正午

場所 対面 市中央駅前地域交流館 対象 妊婦・育児中の母親とその家族 講師 中澤淳子助産師ほか

⑳ 安藤 ☎0476(47) 0516

◆ 障害者雇用促進合同面接会

障害者雇用の促進を図るため事業主や求職者を対象にした「障害者雇用促進合同面接会」を開催します。

日時 30日(火) 午後1時30分～午後4時

場所 船橋アリーナ(船橋市)

㉑ ハロワーク船橋 ☎047(431) 8287

◆ 家事家計講習会

「フランスの良い食事」「親子の生活時間」「家計予算の立て方」を学んだ後、質問することが出来ます。

日時・場所 11月6日(火) 午前10時～正午・鎌倉谷総合福祉保健センター、11月8日(木) 午前10時～正午・印西市中央駅前地域交流館 対象 一般 各日35人(申し込み順) 参加費 400円(資料代ほか)

※保育を希望する場合は20人(申し込み順)まで、1人200円(保険代ほか)掛かります。

⑳ 電話で全国友の会松戸支部鎌倉谷・千葉ニュータウン地区 永田 ☎090(1803) 1317へ

◆ 甲種防火管理新規講習受講者募集

日時 12月4日(火)・5日(水) 午前9時30分～午後5時

場所 印刷地域福祉センター(印西市) 対象 白井市または印西市に在勤・在住で防火管理者として選任される予定の人 100人(申し込み順) 資料代 3,400円

㉒ 11月5日(月)から7日(水)までの午前9時から午後5時まで申し込み(消防本部、管内消防署・分署、消防組合ホームページにあり)に必要

事項を記入の上、写真2枚(縦4センチ×横3センチ)を貼付、資料代を添えて直接印西市消防組合消防本部予防課 ☎0476(46) 9971へ

◆ NPOお茶の間経済学聴講生募集

NPO有志が設立した「お茶の間経済学」では月1回「日本経済と株動向」「世界・日本を読む」などをテーマに学習会を開催していますので、興味のある人は聴講してみませんか。

日時 原則第3金曜日 午後4時～6時

場所 白井駅前センター 講師 経済評論家&ナリスト 奥崎喜久さん 参加費 1,000円(資料代ほか)

㉓ 吉田 ☎(491) 1343

◆ 豪州留学生のホームステイ先募集

文部科学省の「高校生留学支援事業」を実施するにあたり11月初旬と12月初旬に豪州の女子高校生が市内で約1カ月半間ホームステイをします。そのホームステイ先としてボランティアで協力することが出来る家庭を2家庭募集します。

留学生は日本語を多少話すことができ、地域の高校へ通学する予定です。

㉔ 奥崎 ☎(491) 8582

◆ 4S(整理・整頓・清掃・清掃)の徹底で災害を防止しましょう

県内の商業・社会福祉施設での労働災害が急増しています。脚立からの墜落や動作の反動からくる腰痛災害などが多く発生し、11月7日は前年同期と比較すると小売業・卸売業で51件(19倍)社会福祉施設で45件(52倍)増加しています。作業を行うときは安全を確認してか行いましょう。

㉕ 千葉労働局健康安全課 ☎043(221) 4312

私立幼稚園の入園願書の配布・受け付けが始まります

来年4月からの私立幼稚園入園児募集は、県内統一で行います。願書配布日 本日～受付日 11月1日(木)～対象 3年保育 平成21年4月2日から平成22年4月1日までに生まれた子 2年保育 平成20年4月2日から平成21年4月1日までに生まれた子 1年保育 平成19年4月2日から平成20年4月1日までに生まれた子

市内私立幼稚園申し込み・問い合わせ先

園名	住所	電話番号
白井	根1827-27	(492) 0800
宝	根1363-2	(491) 1581
まどか	清水口3-22-1	(491) 9881
英	大山口2-2-2	(491) 3036
白井若葉	堀込1-8	(492) 0801
まこと南山	南山1-7-2	(491) 9281

まちの話題

このコーナーで紹介する皆さんの身近な話題をお寄せください。

国・関 秘書広報課広報広聴班 内線3372～4へ

全国俳句大会で特別賞を受賞



賞状を手に持つ柳沢さん

9月16日に石川県加賀市山中温泉で「芭蕉祭山中温泉全国俳句大会」の表彰式が開催され、柳沢純さん（富士在住）が優秀賞を受賞しました。

俳聖として世界的に有名な松尾芭蕉の代表的な作品「おくのほそ道」にゆかりの深い山中温泉では、芭蕉の足跡をしのび俳句愛好家の輪を広げるために毎年大会を開催しており、全国1,106句の応募作品の中から柳沢さんの俳句「しゃぼん玉飛んで子供の空となる」が優秀賞を受賞しました。

チャレンジ精神が旺盛と言う柳沢さんは「日本的なものが好きで俳句は65歳から始めました。俳句を始めたのころは季語の意味も知らなかった。これまで俳句でいろいろな賞を受賞していますがありますが今回の受賞が一番嬉しい」と笑顔で話してくれました。

ワイルドキャッツ2連覇！

8月26日に桜台小学校で「白井杯ミニバスケットボール交流大会」が行われました。

この大会は市スポーツ少年団が開催したもので、市内から4チーム、市外から柏市、流山市、我孫子市、栄町から各1チームの計8チーム、総勢約120人が参加し、試合はトーナメント制で行われ、どのチームも優勝を目指し白熱した試合が展開されました。



賞状とカップを手に喜びいっぱいの皆さん

熱戦に次ぐ熱戦の末、頂点に立ったのは南山小・白井第一小学校を拠点に活動する「ワイルドキャッツ」で、昨年に続き見事2連覇を達成しました。優勝した「ワイルドキャッツ」の遠藤若奈キャプテンは「先輩たちが昨年優勝し、その優勝カップを今年も守ることができて嬉しいです。今後とも優勝カップを守れるように頑張って練習していきます」と笑顔で話してくれました。

市民が育てるきれいなまち つくりたい団体紹介②

アダプトプログラム

「風楽里（ふうらり）」

風楽里の活動の場は、中木戸公園東側の住宅区内にある緑地です。かつての緑地は真夏には2メートルの雑草が生い茂り、往來する人や車にとって見通しの悪い所でした。以前の除草作業は、中木戸公園東側緑地



花壇の整備を行う風楽里の皆さん

会が緑地所有者である市に依頼して行われていたが、2008年4月に市からアダプトプログラムの提案があり、住民の力で緑地を整備し花を植えようとする風楽里を立ち上げました。

当初は大量の不法投棄に驚き、開墾には多くの努力を要しましたが、今では8日毎に行う朝9時から小1時間の作業で花いっぱい緑地に変えることができました。

緑地は春と秋の年2回市が行う花いっぱい運動で苗の配布を受けるほか、自宅の花や球根、種からの育苗、多

アダプト530クラブ

アダプト530クラブは、平成15年度から21年まで市が設置した100人会議のOBが中心となり、平成21年4月までの名の通り「530（ごみせ）」を目的に市のア

ダプトプログラムを知り、緑あふ緑地の草取りに携わることが、地域のみなさんの絆を深めることであつたと感じ

る530の秋です。

またボイ捨て防止キャンペーンの活動にも積極的に参加しています。白井駅前には灰皿設置で前よりボイ捨てが減少してきたと自負しています。活動中に皆さんの「ご苦労さん」の一言が励みになっています。

現在困っていることがあり、それは花壇の維持管理の際に花に詳しい人がいないことです。四季を通じてもっと美しく華やかにしたいと思ひますので、協力してくれる人や関心のある人は田中（491）1345まで連絡をください。

☆アダプトプログラムに興味のある人は市民活動支援課まで連絡をください。市ホームページにも掲載しています。

市民活動支援課市民活動支援班 内線3151



緑地の草取りをするアダプト530クラブの皆さん

短歌

俳句

※このコーナーは市民の自由な投稿により掲載しているもので、選者は設けていません。

西空夜のとはりが曳かれゆく
鴉は森へ影落とすつとつ
雨上がり白山茶花ひっそりと
孫の誕生 墓前に告げる
空蟬をさぐわこつたまむ幼子は
頬に夕陽のいろを映して
泳ぐよな孫の寝相に逃げ出して
ゆつたり湯浴みす潮騒聞きつつ
哀しげに唄はれてをり鎖国にて
長崎追はれし「じゃがたらお春」
シベリアの一万尺を舞ひ揚がり
吾一番と啼くはどの翼
視力はいい他はいらぬと言う妻の
哀愁の祝いに片眼遣りたし
鈴の音に打たれて巡る順拝に
登る山坂七十路の脚
夏まつりたたく太鼓に浮かされて
生きている事の幸せ思ふ
斑雪の富士は右方にまた左方
東名高速の小さき歓声

（作品は五十音順に掲載）

池の上 関根千浪
堀込 名越たてみ
平塚 海老原弘
南山 山本庸雄
清水口 柴垣正徳
富士 望月玲子
根 印南満子
桜台 米井詩織
復 杉原賢一
七次台 松井寛紅

秋暮しまき水浴びて草やさし
秋茄子母と似ている手で漬けぬ
秋日和八十路背に受け敬老日
朝市に小さい秋を垣間見る
暑さからのがれられなしたうべし
天地の鎮まり給う鐘叩
おはきたんこ食べて気がつく彼岸花
門口の雨に燃え立つ鶏頭花
下駄箱に下駄な息を暮し桐一葉
子等の声すあちこちにささちの音
静寂な乾きき音の鹿鹿し
殉教の人眠る地や秋の海
蟬の殻幹に打ち込む力かな
待望の夜の秋雨癒されし
耐え難き身のおきこころ無き残暑
つくつくこの木の間に喰う法師蟬
土用風身の丈ほどこに生きて吾
梨狩や宇宙の重き授かりし
バトン待つりれの少女眉目涼し
ピシッと窓に激突蟬死す
火の国の活魚の届く白露かな
水仕事終えて気がつく虫の声
虫の音の輪に促されススキ咲く
葉雲や月の兎を隠しけり
雷音と光をのこし通り雨

清水口 大西春江
池の上 横山久雅子
堀込 渡辺若夫
富士 小澤喜美子
大松 川又勝彦
堀込 山川純子
南山 高橋勲次郎
池の上 齊藤真一郎
七次台 柳沢純
富士 大橋茂
富士 片野美耶子
富士 福加あけみ
富士 福加博之
根 乾タカ子
大松 織本泰子
神々廻 齊藤とみ子
神々廻 田中八代
富士 齋藤順子
大山口 上坂千昭
堀込 土山勝貴
堀込 大屋キヲ
清水口 松村純子
富士 今野吉信
富士 染谷英人
清水口 池川悟